電気電子情報関係学会四国支部連合大会原稿執筆ガイド

Manuscript Preparation Guide for the SJCIEE

電気 太郎1　　四国 次郎2　　連合 三郎3

T. Denki1　　 J. Shikoku2　 S. Rengoh3

(電気大学1, 情報大学2, 通信高等専門学校3)

1. 原稿の構成

　本稿は，電気・電子・情報関係学会四国支部連合大会の原稿執筆について述べる．以下のレイアウト，書式に従わない原稿については返戻されることがあるので注意．

* 1. 全体のレイアウト

　原稿サイズ，分量： 原稿はA4 縦置きとし，分量は1ページを越えてはならない．

18mm

18mm

50mm

**タイトル**

45mm

30mm

25mm

空間・余白：講演番号等を挿入するため，左上端に50 mm×45 mm の空間を設けること．上下左右の余白は図1 のとおり．空間・余白内にヘッダやフッタ，ページ番号などは入れないこと．

タイトル：タイトルは本文より大きい文字を用い，上記空間を避けて記述する．日本語論文の場合は英語タイトルを併記する．

図1　余白

図1 余白

著者名：タイトルの下に書く．日本語論文の場合は必ずローマ字の著者名を併記する．その書式は“名のイニシャル” + ピリオド+ “姓のフルスペル” とする．

所属：著者が一人の場合は，“氏名（所属）” のように，著者名に続けて所属を書く．著者が複数人の場合は，氏名を書き，行を改めて所属を書く．このとき，全ての所属を一組の全角括弧“（ ）” で囲み，右肩上付きのアラビア数字でそれぞれの所属を対応させる．文字の色は黒を使用する．

* 1. 本文書式
* 本文は二段組とし，10 pt のフォントを使用すること．書体は，和文であれば明朝体，英文であればTimes Roman 系フォントを使用し，見出し等は和文であればゴシック体，英文であればbold face を用いる．MS Word を使用する場合，英文について等幅フォントが適用されないよう留意すること．
* 和文句点は「．」読点は「，」で，それぞれ全角で記述する．全角英数字，半角カタカナは，特に使用する必要がある場合以外は避けること．
	1. 参考文献書式

文献は，本文中で[1] のように出現順に番号で参照し，論文末尾に参考文献リストを構成する．また，リストの見出し「参考文献」には節番号を振らない．リスト記述例は本稿末尾を参照のこと．

1. PDF作成

投稿された原稿は，論文番号，ページ番号，会議名称などがPDF レベルで追加加工された上で，論文集に収録される．PDF のスクリーン上の見栄え，印刷刷り上がり品質について，以下を参照のうえ，著者自身で調整すること．

* 1. ファイルサイズ

論文集配布の都合上，原稿のファイルサイズ上限は1MByte 以内とする．2.3 節にも関係するが，上限を超過するようであれば，データの適切な間引きや，画像品質調整を検討すること．

* 1. ファイルサイズ

原稿内の全てのフォントについて確実に埋め込むこと．埋め込みができていないフォントについては，PDF 閲覧・印刷環境によっては文字化け，文字抜けが発生する可能性がある．特に図表内で用いられたテキストについて注意のこと．

* 1. 画像等の解像度

画像等は600 dpi 以内で高品質な仕上がりになるよう調整する．A4 刷り上がりで十分視認性を確保すること．アンチエイリアシングやジャギーの発生に注意すること．

* 1. セキュリティ設定とハイパーテキスト

PDF ファイルにはセキュリティを設定しないこと．また，ハイパーテキスト，しおり，メタデータは，2 節冒頭に述べた加工により削除・毀損されることがあり，加工後のPDF においてはそれらの完全性は保証されない．

参考文献

[1] 電気太郎, 四国次郎, “DC/DC コンバータを用いた形態素解析の一考察,” 電気情報未来研究論文誌, No. 4, pp. 125–128, Nov. 2020.

[2] S. Jaycie and I. Eyeyeah, Beyond the DX, Virtual Publisher, New York, 2019.

[3] 電気・電子・情報関係学会四国支部連合大会, https://sjciee.org (2021 年5 月15 日参照)